

## 2024年度事業報告

### I 事業の状況

#### 1 研究発表会、研究会、セミナー、シンポジウム及び講演会の開催（定款第4条第1項第1号、公1ア）

##### (1) 2024年度総会の開催

日時：2024年6月10日（月）16：30～17：00

形式：ハイブリッド方式

オンサイト：日本大学経済学部      オンライン：Zoom 配信

##### (2) 2024年度春季全国大会の開催

テーマ：地域公共交通としてのLRTの課題と展望

日時：2024年6月10日（月）13：00～16：15

形式：ハイブリッド方式

オンサイト：日本大学経済学部      オンライン：Zoom 配信

後援：国土交通省、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人住宅金融支援機構、  
一般社団法人不動産協会、公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会、  
公益社団法人全日本不動産協会、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会、  
一般社団法人不動産流通経営協会、一般社団法人全国住宅産業協会、  
一般社団法人不動産証券化協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、  
公益財団法人日本賃貸住宅管理協会、公益財団法人不動産流通推進センター（順不同）

内容：シンポジウム形式

パネリスト      ：北見  宏介（名城大学法学部教授）  
                         奥田  進一（拓殖大学政経学部教授）  
                         近藤  圭一郎（早稲田大学先進理工学部教授）  
                         森本  章倫（早稲田大学創造理工学部教授）  
                         南  聡一郎（国土交通省国土交通政策研究所主任研究官）  
コメント      ：板垣  勝彦（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）

##### (3) 2024年度秋季全国大会（第40回学術講演会）の開催

日時：2024年11月22日（金）～24日（日）（22日は見学会）

形式：ハイブリッド方式

オンサイト：麗澤大学      オンライン：Zoom 配信

形式：公益社団法人都市住宅学会、資産評価政策学会との三学会合同開催

内容：審査付論文発表    3題      一般論文発表    8題

##### ◆ワークショップ    4題

テーマ「空き家利活用のための民間の役割 –支援法人は必要か？」

テーマ「事業・施設の安全性と環境性能はどう統制できるのか –学際的に見た日本の法制度の限界」

テーマ「不動産開発は地域に持続可能性をもたらせるか –神宮外苑再開発を踏まえて–」

テーマ「不動産のウェルビーイング（Well-being）を測る：住まうことの主観的幸福データの捉え方」

##### ◆シンポジウム      1題

テーマ「不動産IDは社会を変えることができるか」

後援：国土交通省、独立行政法人都市再生機構、独立行政法人住宅金融支援機構、  
一般社団法人不動産協会、公益社団法人全国宅地建物取引業協会連合会、

公益社団法人全日本不動産協会、公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会、  
一般社団法人不動産流通経営協会、一般社団法人全国住宅産業協会、  
一般社団法人不動産証券化協会、一般財団法人民間都市開発推進機構、  
公益財団法人日本賃貸住宅管理協会、公益財団法人不動産流通推進センター（順不同）

内容：シンポジウム形式

1. 基調講演「マンションに係る評価方法の改正について」

中島格志（国税庁 課税部 資産評価企画官）

2. パネルディスカッション

パネリスト：宗 健（麗澤大学工学部教授・賃貸住宅情報管理機構株式会社代表取締役）

近藤弘忠（一般財団法人 GovTech 東京 DX 協働本部 本部長）

嶋田康史（株式会社 SBI 新生銀行イノベーティブファイナンス研究所長）

秋山祐樹（東京都市大学建築都市デザイン学部教授）

中川雅之（日本大学経済学部教授・日本不動産学会常務理事・都市住宅学会理事・  
資産評価政策学会理事）（敬称略）

2 学会誌その他の刊行物の発行（定款第 4 条第 1 項第 2 号、公 1 イ）

(1) 「日本不動産学会誌」の発行

| 発行年月日           | 通巻号   |
|-----------------|-------|
| 2024 年 6 月 28 日 | 148 号 |
| 2024 年 9 月 30 日 | 149 号 |
| 2025 年 1 月 24 日 | 150 号 |
| 2025 年 3 月 29 日 | 151 号 |

3 研究及び調査の実施（定款第 4 条第 1 項第 3 号、公 1 エ）

(1) 不動産研究センター

科学研究費助成事業基盤研究等への応募

4 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第 4 条第 1 項第 4 号、公 1 ウ）

(1) 学会賞の表彰

①2023 年度国土交通大臣賞の表彰（2024 年 6 月 10 日）

・住友不動産株式会社「既存住宅ストックの課題解決を進める新築そっくりさんの取り組み」

②2023 年度日本不動産学会長賞の表彰（2024 年 6 月 10 日）

・富谷市富谷市長 若生 裕俊、公立学校法人宮城大学副学長理事 風見 正三

「サステナブルなコミュニティ創造と地域活性化拠点整備プロジェクト

～歴史的な文化資源を活かした市民主体による共創プロジェクト～」

・東京建物株式会社、株式会社東栄住宅

「川のある豊かな日常～聖蹟桜ヶ丘北地区の土地を利活用した「地域防災力の向上」・「自然再興の  
促進」・「賑わい創出」の同時実現～」

③2023 年度論文賞、論説賞、著作賞、湯浅賞（研究奨励賞）の表彰（2024 年 11 月 23 日）

<論文賞>

上野賢一、松山将之「日本における ESG 評価と不動産投資信託の価値関連性についての分析

－GRESB 評価は J-REITS の価値を引き上げているのか？－」

小松広明「賃貸用共同住宅の維持管理の良否認識が物件探索行動に与える影響」

<論説賞>

板垣勝彦「日常生活圏の機能強化の実現と法制度の課題」

藤木亮介「高経年マンションにおける給排水設備の劣化と不動産価値を維持するための方策」

福井秀夫「国境離島等調査規制法の機能と限界」

松尾 弘「土地所有制度の理念と国家安全保障—重要土地等調査法の位置づけと課題」

中川雅之「外国人・外国法人による土地所有：経済学の視点」

浅見泰司「住宅セーフティネット」

<著作賞（学術部門）>

大村謙二郎、有田智一、北崎朋希、太田尚孝『協働型都市開発 国際比較による新たな潮流と展望』

上野賢一『不動産の経済的価値に関する計量経済分析

—住宅の資産価値向上のための価格変動メカニズムの解明』

<著作賞（実務部門）>

不動産政策研究会 編著者：浅見泰司、中川雅之、松尾弘、清水千弘、小林正典

『不動産政策研究』（総論、各論I～IV）

<湯浅賞（博士論文部門）>

岡澤由季「太陽光発電の立地傾向とその要因—国土・地域・地区スケールにおける分析—」

小林伸幸「地方税における納税義務の確定過程の再設計」

(2) 田中学術奨励基金研究助成

<研究助成>

申請者：池澤威郎（阪南大学経営学部）

研究タイトル：ASEAN における日系・総合型商業施設の海外進出

—マレーシア、シンガポールを中心として

<出版助成>

申請者：室田昌子（東京都市大学名誉教授）

出版タイトル：郊外戸建住宅地 — 次世代につなぐ戦略

5 国際的な知識及び経験の交流（定款第4条第1項第5号、公1ア・エ）

(1) 関係団体等との連絡・活動協力

日本学術会議「知的生産者の公共調達に関する法整備連絡協議会」への参画・協賛

脱炭素社会推進会議への参画

関係諸団体との連絡・協力

(2) ホームページによる国際的な情報の発信

6 関連学会との連絡及び協力（定款第4条第1項第6号、公1ア・エ）

資産評価政策学会との業務委託契約締結、その他、連絡・協力・情報発信

関係諸学会との機関誌の交換

7 その他法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第8号）

(1) 会議等に関する事項

|       |    |
|-------|----|
| 理事会   | 4回 |
| 常務理事会 | 0回 |
| 総務委員会 | 3回 |

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 学術委員会             | 1 回 |
| 出版編集委員会           | 4 回 |
| 国際交流・広報委員会        | 0 回 |
| 事業企画委員会           | 4 回 |
| 論文・著作賞選考委員会       | 2 回 |
| 業績賞選考委員会          | 2 回 |
| 田中学術奨励基金研究助成選考委員会 | 2 回 |

## II 会員の状況（2025 年 3 月 31 日現在）

正会員 636 名（うち院生 28 名）

賛助会員 68 団体

以 上

## 2024年度事業報告附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項として記載すべき事項は、特にありません。

以 上